

匿名データの作成に係る統計委員会答申における今後の課題  
(主な事項)

● 各調査に共通する事項

➤ 匿名データの早期提供・年次追加 (調査実施から提供までの経過年数の短縮)

- ・ 住宅・土地統計調査
- ・ 就業構造基本調査
- ・ 全国消費実態調査
- ・ 社会生活基本調査
- ・ 労働力調査

⇒ **統計研究研修所の支援を得て、匿名データの計画的かつ効率的な作成に取り組むことにより、提供の早期化を実現**

➤ 匿名化措置を行う情報及びその程度が異なる複数の匿名データ作成の可能性 (地域情報や年齢の詳細化等)

- ・ 住宅・土地統計調査
- ・ 就業構造基本調査
- ・ 全国消費実態調査
- ・ 社会生活基本調査
- ・ 労働力調査
- ・ 国勢調査

⇒ **匿名データ有識者会議において次回以降具体的な検討に着手予定**

➤ トップコーディング等が行われた変数に関する情報 (平均値等の提供)

- ・ 全国消費実態調査
- ・ 社会生活基本調査

⇒ **利用者に対する提供情報の充実方策について検討**